

平成25年5月28日

外務省

民間競争入札実施事業  
外務省庁舎等施設管理業務の実施状況について  
(平成23年度～24年度)

1. 平成23年度～24年度の事業概要

(1) 委託業務内容

外務省庁舎、外交史料館及び飯倉別館、麻布台別館、船橋分室における管理・運営業務

(2) 業務委託期間

平成23年4月1日～平成26年3月31日

(3) 受託事業者（共同事業体）

株式会社NTTファシリティーズ【代表企業】

高橋工業株式会社

国際警備株式会社

2. 確保すべき質の達成状況、管理・運営業務の実施状況及び評価

(1) 確実性の確保

1) 管理業務の不備に起因する外務省庁舎等における執務の中断回数

外務省庁舎 0回

外交史料館及び飯倉別館 0回

麻布台別館 0回

船橋分室 0回

2) 管理・運営業務の不備に起因する空調停止、停電、断水の発生回数

外務省庁舎 0回

外交史料館及び飯倉別館 0回

麻布台別館 0回

船橋分室 0回

※外務省庁舎及び外交史料館において天井等からの漏水が数件あったが、設備の老朽化によるものであり、直ぐに修繕をしたため業務に影響はなかった。

(2) 安全性の確保

管理業務の不備に起因する職員等の怪我の回数 0回

※定期的に安全大会を実施する等、日頃から注意喚起を心掛けていたため、職員、テナント営業業者等の病院での治療を要する怪我は皆無であった。

### (3) 緊急時の対応

平成23年度、24年度においては、大地震等の緊急事態の発生がなかったが、緊急事態に備えての避難訓練、業務継続計画（BCP）用緊急備蓄品の在庫・使用確認等へ積極的に参加があった。

### (4) 環境への配慮

省エネ法及び環境確保条例を遵守し、温室効果ガスの削減に努めた。

本省庁舎については、平成13年度基準である6,060,716(kg-CO<sub>2</sub>)と比較すると、平成23年度の総排出量は4,496,401(kg-CO<sub>2</sub>)となり約26%の削減となり、目標の8.0%を大幅に超える削減となった。

また、本省庁舎の平成24年度の総排出量は5,701,649(kg-CO<sub>2</sub>)となり約5.9%の削減となったが、これは東日本大震災後の電力供給逼迫を背景とした排出係数の高いエネルギー供給会社への変更が主因であり、平成13年度と排出係数を同一条件にした場合の総排出量は、4,809,995(kg-CO<sub>2</sub>)となり約21%の削減であった。

因みに、外交史料館及び飯倉別館のCO<sub>2</sub>総排出量は、平成22年度に比し、平成23年度13.1%、平成24年度1.8%の削減。麻布台別館は、同様に平成23年度10.4%、平成24年度6.7%の削減であった。

## ●各業務の実施状況

### 【外務本省】

#### (イ) 建物設備管理業務

夏冬の節電対策を実施し、また、電源装置その他各種設備等建物設備管理業務について、実施要項に定められた水準を確保し、適切に実施されている。

#### (ロ) 庭園保守管理業務

本省の内外周に巡らした象徴とも言える数種の桜の古木と中庭の植栽は、専門性の高い有資格者が業務に参加することにより、広く配置された低木や芝とのバランスを考慮しながら最適な樹木（植物）の育成管理をし、全体の美観を保持しており十分な水準を確保している。

#### (ハ) 警備業務

女性の来客に対するボディチェック、荷物チェック要員として女性隊員の配置を実施要項に定めたが、定着率が悪く必要な人員を満たさない時期があった。その場合は他業務の女性

に必要な研修をした上で対応するなどして、実施要項に定められた水準を確保した。

(二) 清掃業務

清掃要員が必要な人員を満たさない時期があり、部分的に庁舎内の汚れ落としが不十分な部分もあったが、統括管理業務従事者が対応するなどして実施要項に定められた水準を確保した。

(ホ) 統括管理業務

各施設の建築設備管理、警備、清掃、庭園保守管理における各業務の総括と確実性及び安全性、緊急時の対応、環境への配慮に向け、実施要項に定められた水準を確保しており適切に実施されている。

**【外交史料館及び飯倉別館】**

(イ) 建物設備管理業務

外交史料館は外交文書の保管及び資料編纂を行い、飯倉別館は外務大臣等が主催する外交上の会議、招宴等を開催する場所として重要な施設であるが、建物は築 42 年を経過し、経年の劣化への計画的な対処が必要であり、その設備機能の中断等がないように運営した。また電源装置その他各種設備等管理業務について、実施要項に定められた水準を確保しており適切に実施されている。

(ロ) 庭園保守管理業務

池を配した日本庭園の特徴を生かすために、より密着した維持管理体制による最適な樹木(植物)の育成管理をし、全体の美観を保持しており、十分な水準を確保している。

(ハ) 警備業務

守衛室との連携により施設を理解した警備を実施することができ、実施要項に定められた水準を確保し適切に実施されている。

(ニ) 清掃業務

大臣が会議、招宴等をする重要な施設であり、要人等来客が十分に満足する快適な利用ができるような清掃を心がけ、実施要項に定められた水準を確保している。

**【麻布台別館】**

(イ) 建物設備管理業務

電源装置その他各種設備等建築設備管理業務について、従来実施してきた内容または水準を守ることにより、実施要項に定められた水準を確保しており適切に実施されている。

(ロ) 警備業務

施設を理解した警備を実施することができ、実施要項に定められた水準を確保し、適切に実施されている。

(ハ) 清掃業務

計画に基づいた適正な清掃により、定められた水準を確保している。

【船橋分室】

(イ) 建物設備管理業務

平成24年度より外交史料館の書庫としての用途を変更したが、そのための湿度管理・防火設備の増設への電源装置その他各種設備等建築設備管理業務について、実施要項に定められた水準を確保しており適切に実施されている。

(ロ) 庭園保守管理業務

桜の古木と広く配置された低木との緑化バランスを考慮した植栽管理は、最適な樹木(植物)の育成管理をしており、十分な水準を確保している。

(ハ) 警備業務

警備員が常設せず、機械による監視及び巡回を行っているが、警報発報の際には迅速に駆けつけ対応を行い、実施要項に定められた水準を確保している。

(ニ) 清掃業務

外交史料保管施設としても、定められた水準に基づいた作業により適正な清掃状態を確保している。

3. 実施経費の状況及び評価

(1) 平成23年度～24年度実施経費(契約額)

375,900千円(23、24両年度とも)

(2) 従来経費(平成20年度～22年度の実績額)との比較

(イ) 平成20年度～22年度の平均

・建物設備管理業務	180,782千円
・電話交換機設備保守業務	31,904千円
・自動火災報知器設備等保守業務	10,588千円
・庭園管理業務	10,595千円
・警備業務	126,916千円
・清掃業務	29,013千円
・その他業務	26,446千円

合計 416,244千円

(ロ) 従来経費(平成20年度～22年度の実績額)と平成23年度～24年度との比較による経費削減効果

416,244千円 - 375,900千円 = 40,344千円

**削減率 年間△ 9.7%**

(ハ) 従来業務と平成23年度～24年度における業務仕様の違い

業務内容及び業務量等に特段の仕様変更はなし。

(船橋分室の書庫化は経費面では特に影響なし。)

(二) 競争入札応札者数

平成22年度(各業務個別入札実施)

- ・設備管理業務： 4社
- ・電話交換機設備保守業務： 1社
- ・自動火災報知器設備保守： 8社
- ・庭園管理業務： 3社
- ・国際会議室音響設備等保守業務： 2社
- ・警備業務： 4社
- ・床清掃業務： 8社
- ・窓ガラス清掃業務： 7社
- ・受付業務： 17社
- ・電話交換業務： 12社
- ・その他の管理・運營業務： 随意契約

平成23年度～24年度

- ・4社

(3) 民間事業者からの改善提案による改善実施事項

(イ) ゴミ回収ステッカーの作成等

毎日のゴミの回収の際、各課室へゴミの有無を明示するステッカーを作成・配布したことにより、ゴミ回収の時間短縮を計れた。

(ロ) 給湯室の改善

ゴミ分別調査により、給湯室のゴミ容器と一部トイレのゴミ容器の購入による配備と、見易いゴミ分別サイン表示の設置交換を実施したことにより、利便性が向上した。

(ハ) 樹木医による調査・診断(庭園管理業務)

樹木医による診断を実施し、倒木の危険への状況対応を検討提案した。結果的に台風に

よる倒木を回避出来た。

(二) 屋上ルーフトレインの点検・清掃の改善

各庁舎の屋上ルーフトレイン点検・清掃を毎月の定常業務化することで、台風等からの予防保全を行った。

(ホ) 床定期清掃の仕様改善

本省庁舎の弾性床定期清掃を汚れ耐久性が高いドライメンテナンス工法（特殊ワックス厚塗り）を試行確認の上導入したことにより、品質が向上した。

(4) 電気使用量の削減効果

[電気] (使用量 (kwh))

電球を LED に交換、蛍光灯の間引きを実施し、効果的な空調設備運転等により電気の節約を図り、次の通り削減することができた。

<本省庁舎>

平成22年度実績： 12,263,384

平成23年度実績： 11,033,568

平成24年度実績： 11,623,600

※平成23、24年度実績平均(11,328,584)と平成22年度を比較すると7.6%の削減

<外交史料館及び飯倉別館>

平成22年度実績： 530,285

平成23年度実績： 450,172

平成24年度実績： 431,952

※平成23、24年度実績平均(441,062)と平成22年度を比較すると、16.8%の削減

<麻布台別館>

平成22年度実績： 125,307

平成23年度実績： 112,007

平成24年度実績： 97,236

※平成23、24年度実績平均(104,622)と平成22年度を比較すると、16.5%の削減

<船橋分室>

平成22年度実績： 17,864

平成23年度実績： 27,741

平成24年度実績： 38,069

※船橋分室においては、平成24年度からの外交史料館の書庫としての用途変更のため、平成23年度から空調設備運転を開始したため電気使用量の大幅増となっている。

#### <全庁舎合計>

平成22年度実績： 12,936,840

平成23年度実績： 11,623,488

平成24年度実績： 12,190,857

※平成23、24年度実績平均(11,907,173)と平成22年度を比較すると、8.0%  
の削減

#### 4. 外務省で設置した外部有識者を含む評価委員会での評価・意見について

##### (1) 報告内容：

民間事業者による対象公共サービスの実施状況（上記1.～3.）

##### (2) 意見等：

確保すべき質の達成状況、各業務の実施状況、経費・光熱使用量の削減効果、改善提案による改善実施事項等、求められている水準を満たしており評価出来る。

なお、警備要員及び清掃要員においては適切な人員の確保及び一人一人の質の向上が望まれる。

#### 5. 評価のまとめ

施設管理・運営業務を一括して委託した平成23年度、24年度と、従来の個別に委託していた平成22年度を比較すると、実施経費（契約額）が10%近く削減されたことに加え、施設管理担当者側では契約事務の効率化が図られた。また、民間事業者による施設のきめ細かい状況把握及び調整が可能となり、且つ民間事業者による種々の改善提案によって、より効果的な管理・運営が行われる様になった。

一方、評価委員会の意見にもある通り、警備要員及び清掃要員において、適切な人員の確保や質の向上が望まれているところ、今後も引き続き民間事業者が本業務を行うことが適当と考える。